

理学研究科数学専攻博士後期課程履修モデル

平成30年4月1日

	講義		研究指導	
	社会性・国際性を養う科目群			
科目区分			指導教員による指導制	
研究の中心領域	倫理観・社会への応用・環境・安全性等を学ぶ科目	数学系の先端的研究を国際性も含めて広い視野で幅広く学ぶ科目	◎ 選択必修科目	
代数学	知財情報科学(1単位) 環境安全科学(1単位) 科学者・技術者の倫理(1単位) 知的財産特論(2単位) 科学文化概論(2単位) サイエンス・ライティング(2単位) Academic English 1(2単位) Academic English 2(2単位) ウォーターサイエンス特論(2単位) 物理学から見る理学の世界1(1単位) 物理学から見る理学の世界2(1単位) 物理学から見る理学の最前線1(1単位) 物理学から見る理学の最前線2(1単位) 物理学から見る理学の未来1(1単位) 物理学から見る理学の未来2(1単位) 実践的リーダーシップを学ぶ(2単位)	数学研究概論(1単位)(1年) 特別講義(五)～(十) (1単位)(1年)	「大学院数学連絡協議会」加盟11校相互の講義の聴講・単位互換制度 津田塾大学、中央大学、学習院大学、上智大学、国際基督教大学、明治大学、日本大学、日本女子大学、立教大学、東京女子大学、東京理科大学	◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(一) (10単位)(1年) ◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(二) (10単位)(1年～3年) ◎代数学／幾何学／解析学／確率・統計研究(三) (10単位)(1年～3年)
幾何学				1年 先行研究の調査 最終目標の設定 研究計画立案 研究活動・研究室ゼミ
解析学				2年 自立的研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿
確率・統計				3年 自立的先端研究活動・研究室ゼミ 国内外での学会・シンポジウム等で発表・意見交換 学術論文作成・投稿 博士論文作成、公聴会での発表、学位審査請求、提出、学位取得
	4単位修得	1単位修得	30単位修得	

修了後の進路	大学のポストドクトラルフェロー・教員 中学高等学校教員 企業(金融、情報関連他)等の開発技術者・研究者 公務員 他
--------	---